

ハンブルク大學より

工學兄——梅雨に先立つて故國を發ち、深緑のシベリアの野を走つたのも既に五つきの昔となりました。黒松白樺のウラルの情調、ゆかしいモスコアのドームに於けるベレスチャデンの藝術、革命博物館、共產主義の街舗、さてはワルソーにてのラジエンキー宮の夕の逍遙等、書き送りましたことも草々ございましたが、伯林四ヶ月の生活は只それだけの間隙と落付きとをすら私に與へませんでした。

獨逸語をもう一度基礎的にやり直したいこのかねての希望は、終に獨逸に來て直接の必然に逼られたとき漸く充たされました。私は會話を後にして文法を先きにしました。初め二ヶ月は家庭教師について四百頁の文法書をその第一頁から初めま

した。あとの二たつきは伯林大學附屬の語學級に入學しました。こゝは殊に獨逸の大學に正規に入學する外國學生のために獨逸語を教へる國立の機關です。故に教師も立派な實力と性格を具へた人で、標準的な獨逸語で教へてくれます。しかしその教授法は可なり嚴格です。上下四級に分れてゐますが、私は初めの試験が好都合であり過ぎたために、最初から第三級に入れられ、後で却つて實力が不足のために可なり苦しまされました。教授法は初めから終りまで *Uebung* のみです。そして毎日四五項の課題があり、毎週誦讀があり、作文があります。この課題を充たす爲に私は大抵深夜まで孜孜として努めることを餘儀なくされました。その御蔭で、終り頃には可なり長い自らの *Vortrag* にも堪える様になりました。そしてこゝでは發音練習の如きも別殊の時間を設けて一々發音符號によつて教へられます爲に、以前輕卒にの

み込んでゐた發音も茲で嚴密に正されました。この語學級はまた外國留學生に獨逸の文化を理解させることに骨を折ります爲に、毎週時間を定めて美術史の知識に富む先生が學生を具して都市の各區、各美術館、ポツダム離宮等を見學せしめ、親切に説明してくれます。この爲めに私は如何ばかり獨逸の美術の理解を資けられたことでせう。

私は時をぬすんではまた折角、獨逸の各種の文化の理解に努めました。學校から行つた以外に各美術館へは數度づゝ訪れました。文化中學、工科中學、女學校、小學校、貧民區小學校、促進學校、新設小學校等目ばしいものは參觀し、カトリック派、福音派の教會をも時折のぞいて見ました。四ヶ月たらずの伯林の生活はかくして終り私は十月の末日をもつてハンブルクに参りました。

ハンブルク大學では十一月一日から冬の學期が

開始されてゐます。私は正式に一學生としての入學登錄も許され、その宣誓式にも出ました。純然たる一學生としては學生の寄宿舎にも入りうるので、こゝに入つてはどうかとも獎められましたが獨逸學生の風として時折、ビールを飲んで騒がれたり、決闘をやられたりしても困るので、近くに宿をとり、食事だけは大學の食堂に通ひ、學生と一しよに食事をしてゐます。アルト・ハイデルベルヒといふ活動寫眞で御承知でせう、プリンスを交へたる多くの學生が一種の制帽をかむり、上衣の下にたすきをしてゐるのを、しかしあの帽子が赤であつたり、青であつたり、あのたすきが赤と白の染分けであつたりしたら、一層奇異に感ぜらるゝでせう。しかしほんとうは高等學校出だての紅顔の青年が着けてゐると若くて可愛いゝものです。けれども私自身はあの青色の帽子をかむり、赤いたすきを掛ける氣にはなれませんのも、既に

三十をいくつか上走つた年の加減だらうと思つて悲しい。

ハンブルクへ來たのはカシラー教授につかんだためです。入學をすました後で、同教授を訪ねましたが、かねて友枝教授からの手紙があつたものから、心よく會つてくれ、『君のくるのを待つてゐた』とて、人數に制限あるゼミナルにも加へてくれました。同教授はこの時、『日本の留學生が今少し若くして來り、今少し永く留まるならば、一層多く満足を得て歸るであらうに』と特に『Konjunktiv』を用ひて語られました。カシラー教授は顔色あくまで快よく、まなざしの光鮮やかに、元氣潑潑たるものがありますが、頭髮は既に盡く雪白です。コーヘン逝き、ナトルプ逝き、リツケルトも既に老いたとせらるゝ今日、ひとりマールブルク學派の衣鉢をつぎ、近來益創造の勞作を止めず、批判哲學の重鎮として獨逸哲學の傳統を愧か

しめざる同教授にして、吾等にかつては尙少壯教授として印象せられたりしものも、既にこの老熟の境に達したる風貌に接することも不思議ではない。なほ同教授の著『象徴形式の哲學』第三卷は旬日にして發兌さるゝ由聞いてゐます。

同教授今學期の講義は希臘哲學史五時間です。コーヘン、ナトルプやハルトマンの諸著述に散見するこの學派の希臘哲學に對する深き理解をこゝに同教授を通じて纏めて論述さるゝの感があります。その中一時間は學生のプラトリーの諸篇に關する Vortage をたくみに編みこみます。ゲオルランド教授は今學期は倫理學を講じ、ノアック助教は現代哲學に於ける Menschen の問題といふを講じます。ウキリアム・ステルン教授は近世哲學史と、心理學では素質論を講じてゐます。カシラー、ゲオルランド、ノアックの三人とも演習にはナトルプの著述を用ひてゐます。故國にあるとき

一通り、ナトルプの著述に親しんでゐた私には極めて幸ひなことです。聞けば稍異なる學統に立つリットもライプチヒにてナトルプを演習に用ひてゐます由、本夏以來各種の名士と會見せられた友枝教授の話をきいても、各方面にナトルプの復活せること、少なくとも回顧的にその價値を認められることは事實の様です。戦後の擾亂から全た秩序を恢復しきつて雄々しい活力を示しつつある今日の獨逸に、表現派的な激搖の無律に飽いて生の根本に尙ほ創造的なる根源の秩序を見出さずば止まざらんとする今日の希求に、軍國主義的な民族的爭鬪よりも社會的民衆的欲求を如何に國家的に秩序づけ實現しつゝ行くかといふ内的社會の本質に考慮を拂ひつゝある現今の社會狀態に、獨逸的傳統たる批判の精神の深き基礎の上に、自らベルグソンの生命の體驗を有し當時のアカデミックスな學者達の擯斥を受けつゝも學と社會とを結合

し、社會的理想主義の規範を宣するに忠實であつたナトルプが、尠くも相當の價値をもつて見返されつゝあることは、謂はれないことではないと思はれます。

こちらの大學に來て最も羨しく感せられるのはゼミナルに於ける學風です。何れの教授のゼミナルにてもその時間の大部分は討議に盡されます。そして學生は各種の大學をワンデルングして來たものが多いですから、師事した一人の教授に必ずしもその思想は固着してゐない様です。教授の主題とする所も範圍が極めて廣く且つ自由です。カシラー教授の今學期のゼミナルの主題は『批判哲學への導き』と言つて、先づ數回ライプニッツ以降の諸哲學の Betrachtungsweise を一通り講述し學生は大ていその中の一哲學者について Vortrag を課せられ、それについて學生と教授が討議と處理を盡してゆくのです。そしてその中にはごく近

くのデイルタイ、ハルトマン、ハイデガー、スプランガー等をも含み、遠慮なく現代の哲學者達の思想をも考究批評して行きます。

こちらの小學校を參觀しても既に日本のそれと比して殊に優れてゐるといふ點はありません。否むしろ教師のより精神的なる點に於て、兒童の鋭敏且つ勤勉なる點に於て、日本の方が優れてゐるでせう。こちらは永い夏休みと春休み、秋休みと冬休みがある上に、大體一週二十時間づゝしか學びません。實力の點に於ても外觀上の施設の上から言つても、我國の初等教育は充分に進んでゐるでせう。しかるに中等教育、高等教育に至つては日本は遺憾乍ら注入主義、材料主義より一步も出でず、惡しく擬せられたる大學教授の講述主義のみが行はれ、形式的な試験のみが唯一の標準規定、否目標とすらなつてゐます。そして大學へ行けばこのゼミナルに於ける自由討究の精神は

皆無です。こちらの學生が日本の學生ほどに苦しい思ひをせずして、しかも學術が進歩し、日本の學生が卒業と同時にノートを捨てることの差の生ずるのは、一つにこの學風の相違によること、この點は深く識者の考慮を要求したいことと思ひます。そして大學に於けるゼミナルの學風も既に大體ギムナジウムに於て養成されてゐる様です。

私はこゝに一年か一年半を過したい積りです。寒氣至り易い北歐の地は十一月の初めといふに萬葉盡く散りつくして、そゝろ落莫たるものがあります。そして天候は雨天多く、リンデンの木末に霏々たる霧雨の降りそゝがざる日とはなく、來春四月までは殆んど日の顔を見ることはないやうです。たまに日の顔を見ることがあつても、溫度極めて低きため、日中でも夕陽の如き永き斜影をひきます。色とりとりの故國の秋色と、心ゆく

許り陽光を浴び大地に卽して暮しうる日本の生活がなつかしい。しかしこれも北緯五十五度、露領樺太に相當する北地としてはむしろ早や氷結してしまはない丈が仕合せです。このダウンケルな氣分にしみぐとひたり盡さねば、しかし、北歐に生れた思想の眞味は分るまいとも思はれます。

「哲學研究」昭和三年十二月號
由良哲次「コーヘンに於ける根源と非有」

正誤表

| | | | |
|----|----|-------------|--------------|
| 頁 | 行 | 誤 | 正 |
| 7 | 15 | 考へ | 考へ |
| 7 | 15 | 現代數學 | 現代數學 |
| 2 | 2 | この點 | この點 |
| 13 | 13 | Relation | Relation は |
| 2 | 2 | 探究方向 | 探究の方向 |
| 11 | 11 | 倫理學が | 論理學が |
| 9 | 9 | 代表として純粹意志云々 | 代表として（純粹意志云々 |
| 10 | 10 | かゝる意味にその | かゝる意味にての |
| 13 | 13 | vo/jarax | vo/jarax |